

1. 概要

○地域のリスク情報や水害情報等について、テレビやラジオ等のそれぞれのメディアが有する特性を活かし、**地域住民の理解と避難行動につなげる発信・伝達の取組を、「逃げ遅れゼロ」等を目指して関係者で連携して実施**するため、第3回 岩手地域メディア連携部会を開催。

※大規模氾濫減災協議会の部会として設立。目的意識の統一と連携強化を図るため、岩手県内の他協議会も含む3圏域合同で開催。

2. 日時／実施状況

日時：令和6年6月28日(金) 15:30～16:30

場所：岩手河川国道事務所 2階大会議室

【WEB併用】

出席者：テレビ局(2)、ケーブルテレビ局(6)、
新聞社(2)、行政機関を含む22機関、
約38名が参加

議事内容

- 1) 防災用語の解説にかかるニーズ調査について
- 2) 取組内容・情報提供等
- 3) 意見交換
 - ・必要と考える防災情報
 - ・前回(R2.8)のメディア部会以降独自の取組
 - ・「流域治水」の取組、行政への提案

主な意見等

■必要と考える防災情報

●ラジオ

➢各河川流域や各エリア等、具体的な被害予測を時間的な推移を踏まえて発信して欲しい。

●新聞

➢川だけでなくダムも、今どういう状況なのか映像と共に知らせて欲しい。

■前回(令和2年8月)開催のメディア連携部会以降独自の取組

●テレビ

➢広く避難勧告が出た場合には速やかにL字を送出して視聴者への情報提供に努めた。

●自治体

➢LINE公式アカウントを開設し、防災情報を発信。
➢市民生活総合支援アプリを情報発信手段に加えた。

■「流域治水」の取組、行政への提案

●テレビ

➢行政と防災士の緊密な連携。
➢県内10局あるケーブルTVを活用し、沿川地域の氾濫傾向や事例紹介と予防措置を紹介する合同番組を制作し、各エリアで放送すれば互いの流域の現状について知る機会になるのでは。

●新聞

➢洪水から地域を守る行政の取組、ダムや河川の機能や限界、流域全体で守ることなど、学びや直接意識出来る活動などを分かりやすく伝える取組が大事。



<開催状況>